

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	農林水産技術会議事務局筑波事務所	連絡先	総務課 029-838-7201
所管する業務の概要	農林水産研究技術情報の高度利用の円滑な推進、研究者の人材育成と産学官の連携推進及び共同利用施設の適切な運営に関すること		

1. 基本的な心構え・行動	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
・ 挨拶については、局内で決定した標語を所内に掲示している。	
・ 来訪者等に対して笑顔で挨拶、親切・丁寧な対応、電話対応時やメールなどで丁寧な言葉づかい、迅速な業務対応等に留意している。	・ 筑波事務所の職員であるという自覚を持って職員外と接する意識を養うために名札を日常的に身につける。
・ 接遇については、一人一人の意識を高めるため所内研修を開催した。	・ 新たに所内に異動した者には、所内研修を実施する。
・ 「ビジョン・ステートメント」を日常的に確認できるよう、所内電子掲示板に掲載している。	・ 所内電子掲示板への掲載を見やすくすると共に、所内に掲示し日常的に見ることができるようにする。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
・ 利用者への情報提供はホームページ掲載やニュースの発行、メール配信など複数の媒体を活用し、広報に努めている。	・ 常に利用者のニーズを把握し、その観点から随時情報を更新する。

<ul style="list-style-type: none"> 提供しているサービス・システムに関する質問、意見等の専用アドレスを設置し、情報収集に努めている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 業務を推進する上で委員会等の体制を整備し、ユーザからの意見や要望をもとに運用方針の見直し等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、委員会等を開催し、ユーザの立場から利用しやすいシステムの運用を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 業者との打合せの際には、議論のサマリを確認し、認識に齟齬が無いよう確認することを実施している。 	
<ul style="list-style-type: none"> 筑波農林研究交流センターの運営について、アドバイザー・ボードを設置し、外部の有識者から広くご意見を伺っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筑波農林研究交流センターのアドバイザー・ボードにおいて、委員から出されたご意見を参考に今後、より良い運営を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 見学者が、より満足する見学となるよう配慮して独法との調整を行うほか、研究の概要のパンフレットを配布し、理解を促進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 見学者の希望する機関・施設との調整に不都合が生じた際には代替案を提示するなど、きめ細かい対応の検討を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 修繕、改修工事等を行うにあたって、緊急度や重要度を常に確認しながら行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで以上にコスト意識を強く持ち、無駄をなくすように努める。

3. リスク管理	
<ul style="list-style-type: none"> 現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリ・ハット事例について随時、職員へ周知するとともに、実際の事例があれば登録するよう依頼している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事例があれば登録するように周知する。
<ul style="list-style-type: none"> 提供するシステムは第三者機関によるセキュリティチェックを行い、潜在している新たなリスクについて対応を逐次検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 発生した問題については関係部署で共有しているが、利用者に影響のある問題の発生時にはホームページ上にその旨を速やかに公開する。
<ul style="list-style-type: none"> 視察に対し、スケジュール表を入念に作成し、起こりえるアクシデントをシミュレーションする等事前確認を徹底し 	<ul style="list-style-type: none"> 本省掲示板掲載のヒヤリ・ハット事例をチェックし、関連事例は課内会議等で情報共有を図り、案件ごとに検討

ている。アクシデントがあれば、速やかに関係者と連絡・調整しスケジュールを修正している。

する。

4. 食の安全に関する取組

・現在行っている取組や工夫

・筑波農林研究交流センターでは、毎年、産学官の研究者及び分析担当者を対象に遺伝子組換え体の検知技術について、安全性や農産物の流通実態を含めたワークショップを開催している。

・点検によって得られた課題とその改善策

・遺伝子組換え体のワークショップの参加者の要望に応じ、新しい検査法が開発された場合は、タイムリーにワークショップを開催する。

5. その他の重要な取組

・現在行っている取組や工夫

・年度当初に、各課の業務目標を作成し、所内電子掲示板に掲載している。

・週1回の課内会議において、各係から業務内容を報告することにより、課全体で業務の流れや問題点を共有している。

・筑波農林研究交流センターの今後の活用について、課員のブレインストーミングにより、問題点の共通認識や、新しい発想や課としての一体感を得た。

・点検によって得られた課題とその改善策

・業務目標の達成状況について、定期的に点検を実施し、必要に応じ見直しを行う。

・今後、他の業務においてもブレインストーミングを効果的に活用する。